

01 三起精工株式会社

油圧技術をベースに、金型仕上げ用プレスと生産用プレスが2本の柱。 設計力を強化し、顧客満足を徹底追求

顧客満足の良品づくりに徹する

三起精工は油圧プレスの総合メーカーとして、金型仕上げ用プレス(反転式ダイスポッティングプレス、トライアウトプレスなど)、ならびに生産用プレス(成形プレス、ヘミングプレス、ホットプレス、高速トリミングプレスなど)を2本の柱として事業展開を図ってきた。一昨年(2008年)11月に設立30周年を迎え、設立以来の出荷台数は国内外合わせて累計1582台に達している(2008年12月現在)。単純に計算しても月4.3台のペースである。

仙波勝弘社長は創業以来、「顧客が満足する最高水準の製品づくり」を経営の第一義としてきた。同社の製品はほぼ一品一様、カスタムメイドに徹している。顧客のニーズを機能に組み込み、徹底して顧客満足を追求する。その結果はリピート率87%という驚異的な数字となってあらわれており、顧客からの高い信頼を獲得していることがわかる。

しかしながらリピート率87%という数字も一朝一夕で得られたものではない。そこには仙波社長の設計への深い思いがあり、設計重視の理念から生み出されたものである。仙波社長自身、前例踏襲の設計にこだわる機械メーカーに限界を感じて退社・独立しただけに、良品づくりには創造性の高い設計機能の育成と確保が不可欠との信念を持つ。実際、ダイスポッティングやトライアウトプレスの反転方式は、仙波社長が完成度を高め、国内で初めて製品化したものだ。

設計力の強化は具体的に、社員の3割が設計要員ということで理解することができる。社屋2階1フロアを設計部門に割り、ゆったりとしたスペースの中で最新機能搭載のCADを駆使して設計業務にあたる姿は同社の企業姿勢を如実にあらわしている。

良品づくりを徹底するために、製品完成後の反省会も欠かさない。設計と製造の担当者が集まり、出された意見を集約してデータベース化し、ノウハウを蓄積していくことになる。次の製品の開発設計にそのノウハウを組み込んでさらに完成度を高めるという好循環を生み出している。



写真1 反転式ダイスポッティングプレス
[SDP-1310-100TG]

消費電力70~80%減 環境対応機に注力

三起精工は昨年10月に開催されたMF-Tokyo2009に省エネ型の100トンSDP型ダイスポッティングプレスを出展した。2008年5月に中国・上海で開催された金型技術展に初出品し、注目を集めたものだ。必要などきだけ油圧ポンプを動かし、モータの回転数を最小限に制御して消費電力を従来機比70~80%削減。インバーター制御搭載の環境対応機である。

金型仕上げ用プレスと生産用プレスの売上げ比率は各50%とほぼ二分する。金型仕上げ用プレスのうち、ダイスポッティングプレスはプラスチック・ダイキャスト金型用のSDPシリーズ、プレス金型用のDPMシリーズで構成し、トライアウトプレスはSTRシリーズで顧客需要に対応する(写真参照)。加圧能力はダイスポッティングプレスが500トン、トライアウトプレスが1000トンを上限とする。なかでもダイスポッティングの反転方式は創業以来のノウハウを凝縮したものであり、ボルスターを任意の角度まで反転して効率的な作業を実現する。高度の復帰精度を有し、精度管理も万全である。

生産用プレスは、自動車関連用と高速深絞りプレスなど一般用とに分類することができる。自動車関連は内外装部品、摩擦部品などを対象とする高速成形プレス、トリミングプレス、ヘミングプレス、ホッ



写真2 反転式ダイスポッティングプレス
[DPM-3523-200ARD]



写真3 トライアウトプレス(横押し装置付き)
[STR-4020-600MWG]



写真4 熱成形プレス
[SHP-7760-200TG]



写真5 成形/トリミングプレス
[STS-2918-250FWG]

トプレス等々でバリエーションを組み、機種揃えは幅広い。顧客ニーズに対応してきた結果である。なかでも摩擦部品用のホットプレスは、国内の自動車搭載するブレーキパッドなどの50~60%は三起精工製のホットプレスでつくられたものという。隠れたベストセラー機ということができる。

出荷先を見ても、栃木・群馬両県にまたがる両毛地区への納入実績が目立つ。金型メーカーの集積度が高い地区だが、プレス金型用のトライアウトプレスは70%超の占有率を有し、ほぼ寡占といってもいい。情報の伝達が速い地元で大きな信頼を得ている要因は、顧客ニーズにきめ細かく対応する同社の姿勢と技術力、そして技術サービスの即応にあるこ

とは確かである。

海外出荷累計は418台

直近の輸出比率は50%を超えており、ワールドスタンダードとしての同社製品の拡販を目指す。昨年末の出荷累計は418台となっており、米国、中国をはじめ、タイ、台湾、韓国、インドネシア、英国、メキシコ、インド、マレーシア、カナダ、シンガポール、フィリピン、ブラジル、イラン、香港、オーストラリアと15の国・地域に及んでいる。海外展開はさらに加速する勢いだ。



仙波勝弘 社長

三起精工株式会社

〒326-0328
栃木県足利市県町 890-4

TEL.0284-72-2002

http://www.sanki-seiko.co.jp